

出エジプト記 19:1-25 十戒 第一部

数か月前、イスラエルの民がエジプトでの捕囚生活から解放され、荒野にいるところで出エジプト記を一旦離れました。民は国家としての体制を整え始め、モーセの義理の父親もが、指導者としてモーセが民を導く体制の土台を確立するのを助けているところでした。19章に入ると、ある意味この書の後半部分に入り、この書の最も重要な出来事を目撃することになります。今日の説教題からもお分かりかと思いますが、これらの章では私たちが十戒と呼んでいるものが与えられています。ですが、これらの十戒と、その後の箇所で与えられている律法は、単に私たちがすべきこと、すべきでないことのリスト以上のものです。これらは、神の被造物を贖うというご計画が達成されるための次のステップを示しています。神がそのご計画を一連の契約を通して進められますが、すべてはイエス・キリストにおいて成就されます。

出エジプト記 19-24 章で、神はモーセを通してイスラエルと契約を結ばれます。今日の箇所はこれから 2 週間かけて学びます十戒の準備についてです。これらの戒めはモーセの律法の基礎を成すもので、24 章までに渡って記され、出エジプト記の残りの部分にまで広がるものです。また、レビ記、民数記、申命記にもこの契約が求める追加的な側面が含まれています。今日は 19 章全体を読みますが、まずは 1-6 節を見ていきましょう。「**エジプトの地を出たイスラエルの子らは、第三の新月の日**にシナイの荒野に入った。2 **彼らはレフィディムを旅立って、シナイの荒野に入り、その荒野で宿営した。イスラエルはそこで、山を前に宿営した。**3 **モーセが神のもとに上って行くと、主が山から彼を呼んで言われた。「あなたは、こうヤコブの家に言い、イスラエルの子らに告げよ。**4 **『あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に乗せて、わたしのもとに連れて来たことを見た。**5 **今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中にあって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。**6 **あなたがたは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。』これが、イスラエルの子らにあなたが語るべきことばである。」**」エジプトを出てから約 3 か月が経ち、シナイ山という重要な場所へ来ました。シナイ山はモーセが燃える柴の中で神と出会った場所であり、神ご自身の言葉を通してヤハウエ、「私はある」という神の御名が語られた場所です。この御名は、言葉が可能な限りに、神の絶対性、主権、究極の栄光を完全に宣言するものです。これほどまでに偉大なお方であるにもかかわらず、罪の中にあるがゆえに神の祝福も贖いも受けるに値しない私たちに、神はご自身を現すことを望まれます。今、その同じ場所で、神は、イエス・キリストにある私たちの贖いのこの上ない希望を現わす次の段階へと進まれます。迫りくるエジプト軍を前に、神が民のために示された御業のゆえに、彼らの神に対する信頼はかつてないほどに高まっていました。そこで神は語られます。もし紅海を渡った時のように、あなたの方のために私の栄光が表わされるのを見続けたいのであれば、ここにあなた方が私の民であることを世界に示す契約がある、と。事実、エジプト人もイスラエル人も神の恵みに価する者たちではありませんでしたが、主権的な恵みと摂理によって、神はイスラエルを「祭司の王国、聖なる国民」とすべくご自分の民として選ばれました。歴史の中で、祭司として人々をご自分に導き、ご自分の聖さと完全さを反映した生活を送る民をつくること、神の究極のご計画でした。言い換えるなら、神の完全な似姿を生きるために人間は創られたのです。新約聖書で新しい契約に目を向けると、教会について同じことが記されています。ペテロの手紙第一 2:9 には次のようにあります。「9 しかし、あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとされた民です。それは、あなたがたを闇の中から、ご自分の驚くべき光の中に召してくださった方の栄誉を、あなたがたが告げ知らせるためです。」また、黙示録では、この種族、すなわち王である祭司、聖なる国民が、神と共に地を治める姿が描かれています。祭司として、神の聖なる国民として、神と共に永遠に生きることが、私たちの向かう道なのです。黙示録 5:9-10 には次のようにあります。「**彼らは新しい歌を歌った。「あなたは、巻物を受け取り、封印を解くのにふさわしい方です。あなたは屠られて、すべての部族、言語、民族、国民の中から、あなたの血によって人々を神のために贖い、私たちの神のために、彼らを王国とし、祭司とされました。彼らは地を治めるのです。」**」」ですから、この契約は神ご自身の聖なる民を創りだすためにあるのだということを心に留めておかなくてはなりません。神はご自身

の栄光を当然受けるべきお方で、その栄光は、神を賛美することに最大の喜びを見出す人々によって捧げられるものです。

私たちがどのように神に近づくかを定められるのは、神ご自身です。私たちの側でどうしたら神の民となるのかを決めることはできません。十戒が与えられる前段階においても、神はこの契約の詳細を与えるにあたり、民が神とどのように関わるべきかについて、とても詳細な指示を与られます。7-15 節で、モーセが神のことばを民に伝えるために、明らかに何度も山に上り下りしているのを見ます。加えて、この契約とその律法が完全に示されるまでに、モーセは更に何度か山を上り下りすることになります。7-15 節を読みましょう。「7 モーセは行って、民の長老たちを呼び寄せ、主が命じられたこれらのことばをすべて、彼らの前に示した。8 民はみな口をそろえて答えた。「私たちは主の言われたことをすべて行います。」それでモーセは民のことばを携えて主のもとに帰った。9 主はモーセに言われた。「見よ。わたしは濃い雲の中にあって、あなたに臨む。わたしがあなたに語るとき、民が聞いて、あなたをいつまでも信じるためである。」それからモーセは民のことばを主に告げた。10 主はモーセに言われた。「あなたは民のところに行き、今日と明日、彼らを聖別し、自分たちの衣服を洗わせよ。11 彼らに三日目のために準備させよ。三日目に、主が民全体の目の前でシナイ山に降りて行くからである。12 あなたは民のために周囲に境を設けて言え。『山に登り、その境界に触れないように注意せよ。山に触れる者は、だれでも必ず殺されなければならない。13 その人に手を触れてはならない。その人は必ず石で打ち殺されるか、矢で殺されなければならない。獣でも人でも、生かしておいてはならない。』雄羊の角が長く鳴り響くときは、彼らは山に登ることができる。」14 モーセは山から民のところを下りて行って、民を聖別した。彼らは自分たちの衣服を洗った。15 モーセは民に言った。「三日目のために準備をしなさい。女に近づいてはならない。」」神に近づくことは重大なことです。民がしようとしていたように、たとえ神がおられる場所に近づき、神からのメッセージを受け取ることさえも重大なことでした。神に近づくことの重大さは、神の聖さに基づくものです。神の被造物である私たちは罪人です。ローマ人への手紙 3:23 は「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」と言っています。私たちは神の栄光のために生き、人生において神に栄光を帰すことができないために、その栄光に値しないのです。その過ちこそが私たちの罪なのです。神は、モーセがそうしたように、直接神の御前に進み出ることができる者となるようにと私たちを創られました。私たちの内に、家族であり、平安の場所でありたいと願っておられます。けれど私たちは皆、神に近づくことを妨げる罪という問題を抱えています。神は民への指示の中でそれを明確に示されました。それらは厳格で、あるいは異常なほどに細かなところまでこだわっているように見えるかもしれませんが、聖なる神に近づくことの重大さを示しているに過ぎません。これらの最初の指示にイスラエル人がどう従ったかが、彼らが神に従い、神に栄光と誉をもたらすことにどれだけ献身していたかを物語ります。神に対して、民は「私たちは主の言われたことをすべて行います。」と宣言しました。果たして彼らの行動はこの言葉を裏付けられたのでしょうか。

神はご自分を民に現すことを望んでおられることに注目してください。神はモーセに語ることを民が聞くことを望まれたので、民が見ることのできるぶ厚い雲の中に来られ、神がモーセに語りかける声を聞かざらうと告げられました。神がイスラエルの民と共におられることは、出エジプト記最後の 40 章で、新しく建てられた幕屋に神の栄光が満ちるときに最高潮に達します。ですがこの時点では、神はご自分の声を民にお聞かせになりました。それは、神がモーセに語り掛けるのを民が聞くことで、モーセの民に対する権威を確固たるものにするためでした。神が山に下りられる準備として彼らが三日間で従うべき指示は、実際にはそれほど難しいものではありませんでした。すべての衣服を洗い清め、性的関係を控える必要がありました。何のためにでしょう。汚れていたらいけないのでしょうか。もちろんそうではありません。さもないと、私たちは何をしても恐ろしく罪深いことでしょうか。性的に親密であることは間違いでしょうか。結婚という正しい関係においては全くそのようなことはありません。ですが、この個所の中心は 10 節の「民のところに行き、彼らを聖別せよ」という神のモーセへの命令にあります。何かを聖

別するとは、それを聖くすることです。聖化されることです。何かを神の御前に捧げるために備えることを意味します。親密さや汚れは罪ではありませんが、神に向かい、御前に近づくためには、必ずしも間違えではなく、楽しい良いものであっても、それらを控えるべき特別な時があります。神に近づくためには祈りが必要ですが、私たちの祈りの多くは、その裏に何の備えも思いも伴っていません。このことは、神のみに目を向けられるよう、（本質的に間違いではなくても）自分に目を向けるものを断つとともに、神の御前に近づくということに特別な意味をもった祈りが捧げられるべき時があることを教えています。そのような姿勢と神への近づき方は、民が神をどのような方と理解しているのかにおいてとても重要だったので、もし、誰かが山の境界を犯すなら、たとえ身を清めて行いとしては従っていたとしても、山に触れる者は石で打ち殺されるか、矢で殺されなければならないと神は言われました。それは厳しいでしょうか。聖書は、これまでに創造されたすべての者が受けるべきものは死であると言っています。ローマ人への手紙 6:23 は「罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」と言っています。民をエジプトから救い出すことで、神は恵みとあわれみを彼らに注がれました。文字通り、神のご臨在を体験することをゆるされることで、神は恵みを示されると同時に、彼らが備えることなく神の御前に出ることすらできない存在であることを示されます。ですから、もし民が従わずに、神が許される範囲を超えて近づこうとするなら、ご自分の民、あるいは家族、ご自分の御前、内に入れる者たちが従うべき規則を定め、その規則を破った者を裁く権利は、聖なる神であられる方に当然あります。その裁きは、そもそも私たち皆が受けるべきであったものを与えるに過ぎません。獣はなぜでしょう。私たちは神の創造物に対して神に責任を負っているからです。神は私たちを獣を含めてすべての創造物の上に置かれました。ですから、神の民が獣が境界を超えるのを防げなかった場合、その罰は獣に与えられましたが、その責任は飼い主にありました。

準備が整うと、三日目に神が現れられました。16-20 節を見てください。「16 三日目の朝、雷鳴と稲妻と厚い雲が山の上であって、角笛の音が非常に高く鳴り響いたので、宿営の中の民はみな震え上がった。17 モーセは、神に会わせようと、民を宿営から連れ出した。彼らは山のふもとに立った。18 シナイ山は全山が煙っていた。主が火の中であって、山の上に降りて来られたからである。煙は、かまどの煙のように立ち上り、山全体が激しく震えた。19 角笛の音がいいよ高くなる中、モーセは語り、神は声を出して彼に答えられた。20 主はシナイ山の頂に降りて来られた。主がモーセを山の頂に呼ばれたので、モーセは登って行った。」その光景を想像してみてください。神の臨在が山に下り、溶岩のない火山や被害を及ぼさない雷雨のように、その一帯を震えさせました。そして、雷鳴と稲妻の上に、この世の王の到来を告げる角笛の音が鳴り響きました。それらすべての上にモーセを山へと呼ぶ神の声が響きます。この光景を目の当たりにして、この宇宙にある自分というものを考えることを想像できるでしょうか。創世記 11 章にあるバベルの塔の出来事のように、人類が作り得る最も高い建物によって神に届こうとしたとき、人類よりもはるかに偉大で大きな神は下って来られざるを得ませんでした。その地域で最も高い場所の一つであった山に、神は再び下りて来られました。今回は裁くためではなく、信仰と従順という神の求められる条件のもと、神の御前に来る者すべてに、永遠の平安を与える最終的な契約を指し示す契約を通して、希望を与えるために来られました。

そして、その従順さの重要性が、十戒という契約の条件を与える準備として、この章の終わりに神の言葉が私たちを再び誘う点です。21-25 節を見てください。「21 主はモーセに言われた。『下って行って、民に警告せよ。彼らが見ようとして主の方に押し破って来て、多くの者が滅びることのないように。22 主に近づく祭司たちも自分自身を聖別しなければならない。主が彼らに怒りを発することのないように。』23 モーセは主に言った。『民はシナイ山に登ることができません。あなたご自身が私たちに警告して、『山の周りに境を設け、それを聖なるものとせよ』と言われたからです。』24 主は彼に言われた。『下りて行け。そして、あなた自身はアロンと一緒に上れ。しかし、祭司たちと民は、主のところに上ろうとして押し破ってはならない。主が彼らに怒りを発することのないように。』25 そこでモーセは民のところに下りて行き、彼

らに告げた。」この契約を結ぶために律法が与えられる背景にあるのは、神の聖さです。その神の側面は、この書の残りの部分を読み進めるにつれ、ますます明らかになるでしょう。そして、その聖さに対する私たちの応答は、従順と礼拝以外にはあり得ません。それを怠ることは、裁かれることにつながります。山で神に近づくという、多くの人が良いことと思える行為でさえ、神と交わる者たちに神が定められた聖なる基準に対する反抗でした。そして、彼らが反抗したことに対する神の応答は、裁きをもって彼らに臨むことでした。この契約を見れば見るほど、私たちは神の聖さを知り、自分たちの罪深さを痛切に自覚するべきです。ですが、それはまた、私たちが神の恵みの前にひれ伏し、礼拝へと導くべきです。なぜなら、この契約は、祭司として、神の民として、また養子として、神の御前に立つために必要な義を私たちに与える、より優れた契約を指し示しているからです。その新しい契約において、イエスはこのモーセの契約を完全に守り、神を完全に崇められた唯一の人として来られ、生きておられます。完全に神であられ、完璧な人であったそのお方が、本来私たちが受けるべき死の罰を受けるために十字架に架かってくださったのです。イエスは死からよみがえり、罪を悔い改めて、ご自分を主であり救い主として受け入れ、その死が自分たちのためであったと信じる者に、ご自分の義を与えてくださいます。その義と聖さのみが、私たちが神の御前に立つことを許す唯一のものです。私の義でも、あなたの義でもなく、イエスの義です。皆さんはイスラエルのきれいな衣服ではなく、イエス・キリストの義の衣で身を包んでおられるでしょうか。その衣こそが、皆さんをモーセと共に神の御前に進み、創造主の栄光にある交わりの喜びを体験させてくれるのです。祈りましょう。

Exodus 19:1-The Ten Commandments Part 1

When we left the book of Exodus a couple of months ago, we left the people of Israel in the wilderness, but free from Egyptian bondage after their Exodus from captivity in the nation of Egypt. They were beginning to take form as a nation, and even Moses's father in law had helped Moses their leader to establish some basic structure to oversee leading the people. As we enter chapter 19, we really are in some ways entering the second half of the book, and seeing the most important event in this book. You can see from the title of this message that these chapters show the giving of what we call the 10 Commandments. But these 10 Commandments and the legal regulations that follow from the chapters after these are far more than just a list of do's and don'ts that we have to follow. They represent the next step in the unfolding of God's plan for the redemption of his creation. And the way that God moves that plan forward in history is through a series of covenants, all of which are ultimately fulfilled in Jesus Christ.

From Exodus 19–24, God establishes the Mosaic covenant with Israel through Moses. Today's passage sets the stage for the Ten Commandments, which we'll study over the next two weeks. These commandments form the foundation of the Mosaic law, which is laid out through chapter 24 and expanded throughout the rest of Exodus. And the books of Leviticus, Numbers and Deuteronomy also contain additional aspects of the covenant requirements as well. We are going to read all of chapter 19 today, but let's start with verses 1–6. **19 On the third new moon after the people of Israel had gone out of the land of Egypt, on that day they came into the wilderness of Sinai. ²They set out from Rephidim and came into the wilderness of Sinai, and they encamped in the wilderness. There Israel encamped before the mountain, ³while Moses went up to God. The LORD called to him out of the mountain, saying, "Thus you shall say to the house of Jacob, and tell the people of Israel: ⁴'You yourselves have seen what I did to the Egyptians, and how I bore you on eagles' wings and brought you to myself. ⁵Now therefore, if you will indeed obey my voice and keep my covenant, you shall be my treasured possession among all peoples, for all the earth is mine; ⁶and you shall be to me a kingdom of priests and a holy nation.'** These are the words that you shall speak to the people of Israel." So, we are talking about three months after the Exodus from Egypt, when they came to the important location of Sinai. Remember Sinai is the same location where Moses had been introduced to God in the burning bush and for the first time in God's Word, we hear God's name – YAHWEH. I AM who I AM. His name that declares as fully as words are capable of, his absoluteness and sovereignty and ultimately his glory. There is no one greater, and yet he desires to reveal himself to his creatures who are not deserving of his blessing or redemption because we are all lost in sin. Now in this same location, God takes the next step in revealing the ultimate hope for our redemption in Jesus Christ. Their trust in him was at an all time high because of his actions on their behalf in the face of the oncoming Egyptian army. And he says if you want to continue to see my glory revealed on your behalf like I did as you crossed the Red Sea, then here is the covenant that I am giving you to show the world that you are my people. The fact was that neither the Egyptians or the Israelites deserved God's favor, but purely out of his sovereign grace, in his providence, he chose Israel as his people to make them **"a kingdom of priests and a holy nation"**. This is ultimately what God's plan is throughout history, to create a people for himself that will worship him as priests pointing people to himself, and living lives that reflect his holiness and perfection. In other words living out that complete image of God that humans were created to be. See what we find as the description of the church when we come to the New Covenant

in the New Testament- it's the same thing. 1 Peter 2:9 says, **9 But you are a chosen race, a royal priesthood, a holy nation, a people for his own possession, that you may proclaim the excellencies of him who called you out of darkness into his marvelous light.** And in the book of Revelation, we see this group of people, this royal priesthood, this holy people reigning over the earth with God. This is our ultimate destination to live out this priesthood, this holy people of God – with God for eternity. Revelation 5:9-10 says, **9 And they sang a new song, saying, “Worthy are you to take the scroll and to open its seals, for you were slain, and by your blood you ransomed people for God from every tribe and language and people and nation, 10 and you have made them a kingdom and priests to our God, and they shall reign on the earth.”** So, we must keep in mind that this covenant then is about creating a holy people for himself. God is righteously selfish for his own glory, and he receives that glory from people who find their greatest joy in glorifying him.

But our approach to God is on his terms. We don't get to just decide how we become his people. And even as the stage is set for the giving of the Ten Commandments, God gives very detailed instructions on how the people will interact with God in the giving the details of this covenant. In verses 7-15, we see Moses make several trips apparently up and down the mountain to share God's words with the people, and he will make several more before the giving of this covenant and its laws is complete. Let's read verses 7-15.

⁷ So Moses came and called the elders of the people and set before them all these words that the LORD had commanded him. ⁸ All the people answered together and said, “All that the LORD has spoken we will do.” And Moses reported the words of the people to the LORD. ⁹ And the LORD said to Moses, “Behold, I am coming to you in a thick cloud, that the people may hear when I speak with you, and may also believe you forever.” // When Moses told the words of the people to the LORD, **¹⁰ the LORD said to Moses, “Go to the people and consecrate them today and tomorrow, and let them wash their garments ¹¹ and be ready for the third day. For on the third day the LORD will come down on Mount Sinai in the sight of all the people. ¹² And you shall set limits for the people all around, saying, ‘Take care not to go up into the mountain or touch the edge of it. Whoever touches the mountain shall be put to death. ¹³ No hand shall touch him, but he shall be stoned or shot; whether beast or man, he shall not live.’ When the trumpet sounds a long blast, they shall come up to the mountain.” //** **¹⁴ So Moses went down from the mountain to the people and consecrated the people; and they washed their garments. ¹⁵ And he said to the people, “Be ready for the third day; do not go near a woman.”** Approaching God is a serious matter...even being near to where God is and receiving messages from God as the people were, is a serious matter. The seriousness of our approach to God is based on his holiness. We as his creatures are sinners.

Romans 3:23 says that **all have sinned and fall short of the glory of God.** We are not worthy of his glory because we have failed to live for his glory and bring him glory in our lives. That failure is our sin. He created us to be able to do what Moses is doing, go directly into his presence. He wants to be our Uchi, our family, our place of safety and security, but we all have this problem of sin that keeps us from approaching God. He makes that clear here in his instructions. They may seem harsh and intense or even overly concerned with detail, but they are showing the seriousness of this access to a holy God. The Israelites response of obedience to these initial instructions would tell just how committed they were to obeying God and bringing glory and honor to him. The people had told God, **All that the LORD has spoken we will do...** Would their actions now back up those words?

Notice that God wants to reveal himself to the people. He wants the people to hear what he has to say to Moses, so he says that he will come down in a thick cloud that the people can see and they will hear God's voice speak to Moses. The culmination of God's presence with the people of Israel will be when his glory fills the newly built tabernacle in the final chapter of Exodus, Exodus 40. But for now, God will let them hear his voice, and part of that was to reinforce Moses's authority to the people, as they hear God speaking to him. The instructions were actually not too hard to follow in three days as they prepared for God to descend onto the mountain. They had to wash all their clothes and refrain from sexual relationships. Why this? Is it wrong to be dirty? Of course not! Otherwise, we would be horribly sinful doing just about anything. Is it wrong to have sexual intimacy? Not at all, in the right context of marriage. But the focus here is on God's command to Moses in verse 10 to **Go to the people and consecrate them**. To consecrate something is to make it holy. It is another word for sanctify. It means preparing something to be in God's presence. Intimacy and dirt are not sinful, but there are special times where we refrain from even good things that are not wrong and we enjoy in order to focus on God and being close to him. Approaching God involves prayer, but many of our prayer have almost no preparation and thought behind them. This is teaching us there are times where that prayer should involve a special significance put on coming into God's presence as well as a denial of things that focus on the self (even if not inherently wrong) so that we can focus on God. This posture and way to approach God was so important to their understanding of who he was that he said that if anyone violated the space around the mountain, even once they had washed and obeyed in their actions, they would be killed by either stoning or being shot with an arrow if they crossed a boundary onto the mountain. Is this harsh? The Bible says that what every single one of deserves who has ever been created is death. **Romans 6:23 says, the wages of sin is death, but the free gift of God is eternal life through Jesus Christ our Lord**. By delivering them from Egypt, God had poured out his grace and mercy on them. By allowing the people to experiencing any of his presence literally in front of their eyes, he is showing his grace, but also their inability without preparation to come before him. So, if they failed to obey and tried to come closer than he allowed, he is completely within his right as a holy God who gets to determine the rules that His people, his family, those who can enter his presence or his uchi have to follow to judge them when they break those rules. That judgement would be to simply give them what all of us deserve in the first place. Why the animals? Because as humans we are responsible to God for his creatures. He placed us over his creation, including animals. So if his people failed to keep their animals from crossing the boundary, the penalty was given to the animal, but the fault ultimately lay with the owner.

Once the preparations were made, on the third day, God showed up! Read verses 16-20. **¹⁶On the morning of the third day there were thunders and lightnings and a thick cloud on the mountain and a very loud trumpet blast, so that all the people in the camp trembled. ¹⁷Then Moses brought the people out of the camp to meet God, and they took their stand at the foot of the mountain. ¹⁸Now Mount Sinai was wrapped in smoke because the LORD had descended on it in fire. The smoke of it went up like the smoke of a kiln, and the whole mountain trembled greatly. ¹⁹And as the sound of the trumpet grew louder and louder, Moses spoke, and God answered him in thunder. ²⁰The LORD came down on Mount Sinai, to the top of the mountain. And the LORD called Moses to the top of the mountain, and Moses went up.** Picture this

scene: God's presence descends on the mountain, shaking the whole area like a volcano without lava and a thunderstorm without destruction. Then, above the thunder and lightning, a trumpet sounds announcing the arrival of the King of the universe. And over it all, God's voice calls Moses up the mountain. Can you imagine seeing this take place and considering your place in this universe? Just like in the events of Genesis 11 at the tower of Babel where humanity tried to reach God with the tallest thing they could engineer, God had to come down because he was so much greater and bigger than those humans were. Now at mountain, one of the tallest places in that area of the world, God again comes down. This time not to judge, but to offer hope through a covenant that would point to the final covenant that brings lasting peace to all who come to God on his terms of faith and obedience.

And that focus on obedience is again where God's words take us as this chapter ends and sets the stage for the giving of the terms of the covenant, the ten commandments. Look at verse 21-25. ²¹ And the LORD said to Moses, "Go down and warn the people, lest they break through to the LORD to look and many of them perish. ²² Also let the priests who come near to the LORD consecrate themselves, lest the LORD break out against them." ²³ And Moses said to the LORD, "The people cannot come up to Mount Sinai, for you yourself warned us, saying, 'Set limits around the mountain and consecrate it.'" ²⁴ And the LORD said to him, "Go down, and come up bringing Aaron with you. But do not let the priests and the people break through to come up to the LORD, lest he break out against them." ²⁵ So Moses went down to the people and told them. What sets the stage for the giving of the law establishing this covenant is God's holiness. That aspect of God will become more and more clear as we go through the rest of this book. And our response to that holiness can only be obedience and worship. Failure to do this, would result in judgement. Even the action of trying to get closer to God on the mountain, which many might think was a good thing, was rebellion against the holy standards God had set for interacting with him. And God's response to their breaking out in rebellion would be God breaking out against them in judgement. The more we look at this covenant, the more we see God's holiness and should become accutely aware of our own sinfulness. But it should also lead us to worship at the feet of God's grace, because this covenant points to a better covenant that provides the righteousness we need to enter God's presence as priests, as his people, as his adopted children. In that New Covenant, Jesus comes and lives as the only human to ever perfectly keep this Mosaic Covenant and perfectly glorify God. Then that perfect man, who was only that, because he was completely God, went to a cross and took the punishment of death that was rightfully ours. He rose from the dead, and for those who repent of their sins and accept Jesus as their Lord and Savior, trusting that his death was for them, they are granted his righteousness. That is the only righteousness and holiness that will let us enter into God's presence. It's not mine, it's not yours, it's Jesus's righteousness. Are you clothed not in the clean clothes of Israel, but in the righteousness of Jesus Christ? Those clothes let you go with Moses into the presence of God and experience the joy of fellowship in the glory of your creator. Let's pray.